

総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。

研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

1. 研究課題名

合併する感染症に対して入院治療を要したリンパ管奇形の6例

2. 研究の対象患者

旭中央病院で診療したリンパ管奇形の小児例のうち、感染合併にて入院加療を行った患者さん

3. 研究の対象期間

2000年1月1日～2018年8月31日

4. 研究の概要

リンパ管奇形(lymphatic malformation:LM)は、小児に好発するリンパ嚢胞を主体とする腫瘍性病変である。発生率は、数千人に1名程度と比較的稀であるが、頸部や腋下に多く発生し、感染や出血により急性に増大することが知られている。しかし、リンパ管奇形に合併する感染症の特徴や管理については報告が少なく不明な点が多い。今回、当科で診療した感染合併リンパ管奇形の小児6例について臨床的特徴を分析し、報告する。

5. 研究実施予定期間

2018年9月19日～2019年3月31日

6. 研究に用いる試料・情報の種類

発症時の年齢、性別、診断までの症候；発熱・局所の腫脹・発赤・疼痛、検査項目(WBC、CRP)、超音波所見、MRI所見、抗菌薬使用期間、入院期間

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(連絡先) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

- ・研究責任者：小児科 荒川 真梨子
- ・臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111 (代)